

かえる便り 30年度8号

平成30年5月23日

新緑の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

どのような組織にもルールがあり、共通の価値観やルールを逸脱する行動を何度も繰り返せば処分や追放されることがあります。組織の一員であれば価値観や目標を理解・共有して目的を達成する努力が必要なことは言うまでもありません。これはどの国・組織でも同じ筈です。

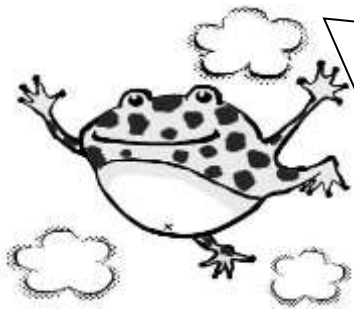
行動面では必死にやっているようでも精神的に変わっていなければ自分を変えることができません。例えば、守備の原則を守っていなくても失点しないことがよくあります。このようなケースが続けば守備者の意識はどのようになるのでしょうか？

ミスはよくあることだからと自分の行動を振り返らない。(何も考えない)

ラッキー!! (と思い守備の意識を忘れてしまう)

相手のミスに救われたが、次からは怠慢な行動をしない。 などです。

伸びる選手・人の思考と行動はどうでしょうか？



「私は、今日あって明日ない命であることを覚悟していますが、せめてお前達だけでも末永く幸福に暮らさせたい念願で一杯です。私も米国のためにこんなところで一生涯の幕を閉じるのは残念ですが、一刻も長くここを守り、東京が少しでも長く空襲を受けないように祈っています。」硫黄島から栗林中将が奥様に送った手紙です。多数の人が日本と愛する人達を守るために犠牲になり今があります…。

あのね お礼とおわびは 速いほうがいいよ

おそくなると 余計なべんかいをしなければならぬからね (みつを)

練習試合前日に1年生が骨折しました。「“くそ” せつかく選ばれたのに…」

当日は大変暑い中での試合でしたが、代役の1年生が凄く頑張っていたのにも関わらず「自分が足を引っ張って申し訳ない」と言っていたのをマネージャーが聞き、一番頑張っていたのに1年生があのような思いでいることに感動していました。彼女曰く、「私も頑張っている人に迷惑をかけないように、出来るところまでサポートしようと思いました。」このような考えを共有しながら、良い集団になるようにしていきたいと思います。